



1年の無火災を誓って

平成 26 年消防出初式

「平成 26 年松前町消防出初式」は 1 月 12 日、松前公園多目的広場で行われ、消防団員など消防関係者が集い、火災予防意識の決意を新たにしました。

オープニングセレモニーでは、岡田中学校吹奏楽部の演奏、松前湧水太鼓の披露と続き、松前町少年消防クラブ員が防火標語を掲げて火災予防を呼び掛けるなど、式典に花を添えました。式典には、松前町消防団、松前町少年消防クラブ員などから約 500 人が参加。分列行進、車両行進が厳粛な雰囲気の中実施され、最後は一斉放水が披露されました。

また、活動に功績があった団員や団体への表彰状伝達も行われ、被表彰者を代表して、第 2 分団分団長の阪井良展さんは「消防精神にのっとり、団旗のもと業務に精励します」と謝辞を述べました。

表彰された人は次のとおりです（敬称略）。

▶知事表彰

松前町消防団

第 9 分団 団員 忽那 俊幸

第 1 分団 団員 住田 英次

▶愛媛県消防協会長表彰

< 功績章 >

第 2 分団 分団長 阪井 良展

第 7 分団 副分団長 大西 博暁

< 勤続章 >

昌農内班 分団長 関谷 一郎

東古泉班 副分団長 大西 浩一

中川原班 班長 加藤 寛之

大間班 班長 池田 正幸

新立班 団員 湊 義明

東古泉班 団員 三好 真一

< 規律章 >

南黒田班 班長 濱田 淳司

徳丸班 班長 八束 健

神崎班 班長 鎌倉 雅之

塩屋班 班長 川本 誠

< 団体感謝状 >

松前小学校少年消防クラブ

< 家族内助の功労者 >

第 2 分団団員夫人 京極 七美

第 4 分団団員夫人 西村しほみ

第 6 分団分団長夫人 重松 綾子

第 8 分団団員夫人 日野 由里

▶纏会長表彰

第 1 分団 北黒田班

第 6 分団 永田班

第 9 分団 塩屋班

▶町長表彰

< 個人表彰 >（消防団員歴 1 年以上）

第 1 分団 南黒田班 青野 勝也

南黒田班 坂本 文広

第 2 分団 宗意原班 森野 義弘

宗意原班 津田 藤紀

新立班 河内 竣

第 3 分団 筒井班 泉 智也

本村班 高須賀篤史

第 4 分団 徳丸班 名本 克哉

出作班 西村 広幸

出作班 西山 哲人

出作班 酒井 優

第 5 分団 神崎班 池内 泰介

第 6 分団 横田班 古野 学

第 9 分団 北川原班 新畠 直浩

< 優良班表彰 >

（消防団活動で他の模範となる班）

南黒田班 新立班

鶴吉班 東古泉班

上高柳班 西古泉班



㊤団旗のもと、団員らによる分列行進

㊤松前町少年消防クラブ員による火災予防啓発

㊤火点に向かって勢いよく放水する消防団員



< 特別表彰 >

（県消防操法伊予地区大会出場）

第 2 分団 第 5 分団 第 8 分団

< 一般協力者表彰 >

佐伯 吉幸 = 鶴吉 =

水口 稔 = 鶴吉 =

▶団長表彰

第 5 分団

▶日本消防協会長表彰

（平成 26 年 2 月以降受章者）

< 精績章 >

神崎班 分団長 水口 泉

< 勤続章 >

南黒田班 団員 横山 眞史

筒井班 団員 谷口 正喜

徳丸班 団員 仙波 規孝

上高柳班 副分団長 大西 博暁

恵久美班 団員 郷田 利久

恵久美班 団員 大政 真

昌農内班 団員 田中 賢二



本町から 2 人が受章

平成 25 年秋の叙勲 / 第 21 回危険業務従事者叙勲



※瑞宝双光章【厚生行政事務功労】
三井 英光さん
みつゝ・ひでみつ
元国立病院四国がんセンター事務部長
78 歳 宗意原

昭和 35 年に中国地方医務局（現 独立行政法人国立病院機構 中国四国ブロック事務所）に採用されて以来、地域医療の最前線に立って、その発展に尽力してきました。退職後も社会保険労務士の資格を取得し、現在も社労士として活躍しています。

三井さんは「病気に関する経験を生かして、障害年金のことで困っている人を助けたい」と、受章の知らせに、より一層のまい進を誓っていました。



※瑞宝単光章【矯正業務功労】
辰野 好徳さん
たつ・よしのり
元法務事務官
63 歳 筒井

昭和 55 年に法務省に採用されて以来、法務事務官として、松山刑務所などで受刑者への矯正指導に携わってきました。

辰野さんは「この仕事は地味で大変ですが、毎日の積み重ねです。二度と同じことを繰り返さないようにという思いを持って矯正指導してきました」と当時を振り返り、「亡父の瑞宝双光章の受章に近づけた」と顔をほころばせていました。



㊤餅まきの様子。夢中で拾う園児たち ㊤おたたちゃんも一緒に踊ったまさき音頭 ㊤つぎたてのほかほかのお餅を丸める園児と保護者



60 年の節目を祝って

松前幼稚園創立 60 周年及びリニューアル記念ふれあいもちつき会

松前幼稚園創立 60 周年及びリニューアル記念ふれあいもちつき会は 1 月 17 日、同園内で開催され、園児とその保護者、卒園者など幅広い世代の住民が参加しました。

本会は、園の創立 60 年と耐震化工事の完了を記念して開催されたもの。白石勝也町長が「地震があっても倒れない強い建物になりました。しっかり遊んで元気な子になってください」とあいさつすると、子どもたちも「新しい幼稚園でドミノタワーなどをして遊んで、ひまわりのような笑顔あふれる幼稚園にします」と元気いっぱいに答えていました。

その後園児たちは両親、祖父母や地域の人たちと一緒にまさき音頭を踊ったり、お餅つきをしたりして、楽しいひとときを過ごしていました。



302 人が大人の仲間入り

平成 26 年松前町成人式

成人の日を前に 1 月 12 日、「2014 松前町成人式」が松前総合文化センターで開催され、225 人が出席しました。

式典前になると振り袖やスーツ姿の新成人たちがぞくぞくと集まり、会場は華やかな雰囲気。友人や先生との久しぶりの再会を喜び、声を上げて手を取り合う姿が見られました。

式典では記念撮影や記念品抽選会のほか、新成人たちの小、中学校時代の写真をまとめた「思い出のアルバム」が上映されました。当時の写真が出る度に歓声を上げ、顔をほころばせて当時を懐かしんでいました。

また新成人を代表して高須賀健太さん＝恵久美＝が、「日々、知恵と努力と行動で、地域にも貢献していきたい」とあいさつ。成人を迎え、決意を新たにしていました。



④思い出アルバムに見入る北伊予校区の新成人たち
⑤乾杯して成人を祝う ⑥抽選会の様子。喜びを体で表現する当選者



にこまるにっこり

にこまる贈呈式

J A松山市（森映一 代表理事組合長）と岡田・松前うまい米づくり部会（豊田年秋 部会長）は 1 月 8 日、「にこまる」90 キロを町に贈呈しました。このお米は、夏場の高温でも品質や食味がよい米ができることで注目されており、平成 26 年産米から学校給食でも使用される予定です。今回は、園児や高齢者など幅広く住民の皆さんに知ってもらおうとともに、喜んでもらいたいという思いで贈られました。

お米は、町内 6 保育所、社会福祉協議会と和楽園に配布され、皆さん給食などでおいしくいただきました。



⑥にこまるを手を持つ白石勝也町長、森映一組合長、豊田年秋部会長 ⑦炊いたごはんをおにぎりにする子どもたち（小富士保育所）



珍味の新ブランドを発売へ

四国珍味商工協同組合



四国珍味商工協同組合（荻野奉晴理事長）は 1 月 15 日、珍味の新ブランド「せとうち IRICO 生活」（鶴崎宗正ブランド化推進委員長）の発表会を行いました。

小魚珍味加工生産量日本一の当町の珍味を全国に発信するためブランド化に着手した同組合は、今回、組合内の 10 社の 10 商品をブランド品として認定しました。どの商品も瀬戸内海産のカタクチイワシを使用し、無添加で安全にも配慮。消費者が安心して手に取れるようにこだわっています。

今後、県外のイベントにも積極的に参加し、同ブランドを全国に届けていく予定です。